



こんにちは

村田 けい子

2015.12.11
No.31

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

《12月議会への報告・審議から》

1、一般会計補正予算案より

町有林の間伐材を売却し 約2,800万円

先人が植えたカラマツ林が50年たち、建築材や集積材として売却できるようになっています。今年度は斎藤木材に 約990万円
住友林業に 約1500万円

H25年度は

- ・新しく作られる特養ホームに町有林を使い 約1,000万円近く
- ・規格外の材木で売却益1,100万円

*間伐材だけで H25,26年度で123ha分
総売り上げ5511.9万円

の利益を上げています。

今後、毎年30haほどを伐採する計画を立て、財源としたいということです。先人の知恵に感謝ですね。

また、ふれあい牧場の仔牛を売却し16.3万円。

2、ふるさと寄付金 補正で480万円

12月1日よりクレジット決済が可能となってから寄付金が急増しているそうです。昨年度700万円弱（うち一人の個人が半分を）

でしたが、今年はすでに800万円近くになっているそうです。およそ400人以上の方たちから寄付金が寄せられており、町もお返しとして、1万円の寄付には、コメ20kgにすることを決めました。

(以前は10kg)

◆一般質問では◆

おいしい立科のりんご作りが続けられるように後継者育成のための仕組み作りを力を入れてほしいと質問。

例えば国県の制度（研修期間年150万円・5年間保証）や農業指導する里親制度、町営住宅など安価な住宅提供などをパッケージにしてパンフレットをつくり、後継者の誘致にもっと力を入れてほしい。姉妹都市・友好都市にトップセールスをと訴えました。

お歳暮には立科のリンゴ！

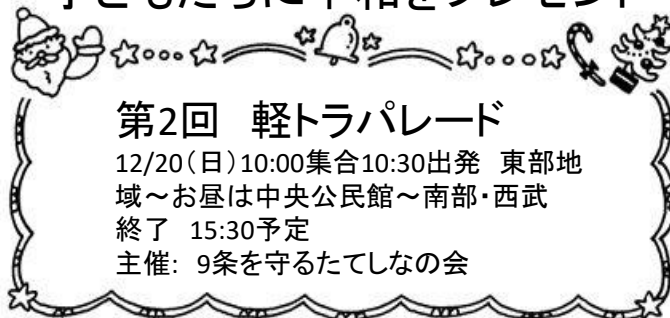
リンゴを送った友人から便りが届きました。「わーりんごだ！嬉しい！！お忙しいでしょうね、私にまでご心配ありがとうございます。大好きなリンゴとてもうれしいです。・・・」



3、マイナンバー制（国民総背番号制度）導入で基盤整備に多額の財源

来年1月から個人カードの発行を進めるため、町は電算システム導入やその工事、また手続きの臨時職員賃金の予算を提案。町税・国民健康保険・介護保険条例に個人番号についての規定を入れ込みます。国民に「メリットなしリスクあり」の新たな大型公共事業です。

子どもたちに平和をプレゼント



第2回 軽トラパレード

12/20(日)10:00集合10:30出発 東部地域～お昼は中央公民館～南部・西武
終了 15:30予定
主催: 9条を守るたてしなの会

9条の会では2回目の軽トラパレードを企画しています。戦争法を廃止させるために、私たち国民が諦めないで声を挙げ続けることが必要です。参議院選挙での野党共闘をと市民団体と5野党（日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党）との意見交換会が行われ「安法法制を白紙に戻すことも十分可能ではないか」と民主党枝野幹事長は語りました。「野党はまとまれ」「アベ政治やめろ」の声をおおきくあげましょう。



干し柿 製造中



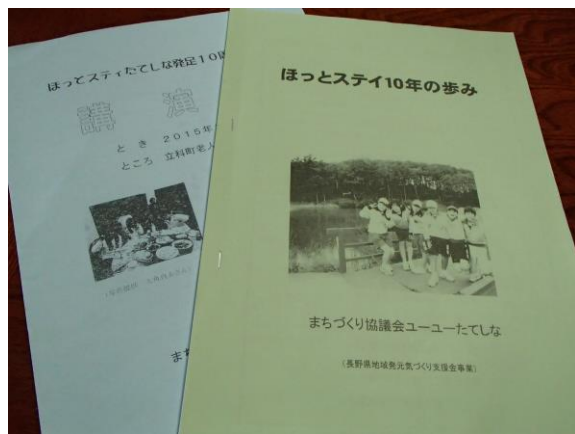
今週の
パチリ

こたつに当たって、テレビを見ながら皮をむいた柿。庭の日陰につるして置いたら、水分が抜けて色も変わり・・・。

どうかな、どうかなと触って味見をする毎日。一つ二つと口に入れ、いつの間にか減っています。人寄りのお茶請けにも持っていく、夜のお茶にもちょっとだし。粉が吹くまでにいくつ残るのでしょうか。それにしても甘～いですよね。



ほっとステイ事業10周年記念行事イベント 盛大に行われる 12月6日



『人口減少の克服・地域経済の活性化・雇用の創出・移住促進に向けて「観光と農業・農家・農村」を元気にするため、商工会は、立科町自立宣言書発行と同時の平成17年4月1日、地域活性化組織「町づくり協議会ユーユーたてしな」を発足しました。翌平成18年に開始した「ほっとステイ」事業は、農商工官学金観光連携にて「都市部との積極的な交流・誘客」により、町の知名度を高め交流人口を増やし、自然豊かな街の魅力を知らせていただき、来ていただき、消費していただくうえで、リピーターとなり又将来の移住定住につなげるとともに、経済効果を高める期待を込め、さらに町や住民の心も生活も事業もすべてに発展することを目的に取り組んできました。』（パンフレット 竹花信明会長のごあいさつより）国の地方創生に先駆けて、10年前から地方をアピールし、その魅力を伝える事業を続けてきた立科町。都市部の中小

訪れし 都会の子らが
農村の 生活学び まなこ輝く
十年の節目を迎えし ほっとステイ
さらに広げて 発展願う
横鳥の里 竹花初雄（滝神）
（10年の節目にまとめられた冊子の裏表紙に乗せられた短歌
10首のうちから抜粋）

高生を中心に19,156名、延べ3,325家庭で受け入れ、最近では海外からも2,454名が延べ610家庭で受け入れられているそうです。素晴らしいアイデアと実行力、団結力ではないでしょうか。参加した多くの子供たちの胸に、立科町の温かいそして心を豊かにする町の魅力、「お・も・て・な・し」が残ったことだと思います。普段着の農村の暮らしを体験してもらおうありのままの体験、さらに続いてほしいと思います。関係者の皆さま、お疲れ様です。

ふるさと再発見「歴史を生かした里づくり」 時代考証家 山田順子先生の講演

10周年記念講演

ほっとステイ10周年の記念として時代考証家の山田順子さんから立科町の魅力再発見のお話を伺いました。

山田先生は町の北部を歩き回って、主に津金寺など歴史的な建物を「絵になる」かどうかという視点で見て回ったということです。彼女は映画作りの際時代考証家として、その時代がどうであったかを研究するスペシャリストとして、数々の映画のシーン撮影の折、だめ押しをし、「その時代らしくあるように指摘、指導する」のがお仕事とのこと。

山田先生とのご縁を取り持ったのは、山浦副町長とのこと。社会福祉課の仕事をしたときに、スズラン学級の講師として町に招いたことが最初の出会いとのこと。町のお宝を掘り起こし、整備すれば映画のシーンにも使える場所がたくさんあるとの指摘に、彼女の指摘を生かせば、さらに町の魅力がアップすること間違いのないなと思いました。

その彼女から見た町の魅力、お宝を映像で紹介されました。こうしたらよいという指摘も多々ありました。

・芦田城の空堀…これだけしっかりと残っている遺跡は貴重だが、城跡から望む眺望を遮る看板がつや消しであること。

・津金寺の妙見堂…信州の名工による彫り物がすばらしい。

・津金寺の五輪塔 千塔もあるのは日本一と言ってよいとのこと。

・町に残る風習…武家職を林立させる行事

・茂田井神社の回り舞台も生かせるのでは。

・蓼科神社の石段、本殿は素晴らしいが、屏の壁が緑色に塗られているのはどうかと思う。周りの雰囲気合うように工夫ができなかったのか、と苦言を呈された。

・笠取峠のある陶板の表示が浮世絵の中の文字と一緒にの方が面白いと思う。 etc.etc.

移住体験住宅の設置（芦田の元町営住宅）



12月議会で条例提案されている体験住宅は建設中です。

移住を前提に、7日以内で宿泊しながら立科町を回ってさまざまな調査・体験ができるように住宅

私も「町の“良いところ探し”と魅力発信」を今回の議会で質問しましたが、よそから来た住民やクライアントのみなさん、山田先生のような歴史研究家などに町の魅力について語っていただき、大いに発信したらどうかと思います。

を用意したということです。住宅はキッチンがある6畳間と4畳半相当の二部屋あり、2戸の住宅の真ん中に交流スペースがあります。12月補正では、18万円の使用料が計上されています。